Research Institute for World History
Newsletter
No. 28　September 2016

CONTENTS

■ シリーズ紹介　『MINERVA 世界史叢書　全 16 巻』　南塚信吾　— 1 頁

■ RIWH アフリカ奨学基金（第四期）授与の報告　— 3 頁

発行： NPO-IF 世界史研究所 http://www.npo-if.jp/riwh/

世界史研究所「ニューズレター」
第 28 号（2016 年 9 月）

シリーズ紹介

編集委員　秋田茂／永原陽子／羽田正／南塚信吾／三宅明正／桃木至朗

MINERVA 世界史叢書　全 16 巻　ミネルヴァ書房

南塚信吾（世界史研究所所長）

今年 7 月に、ミネルヴァ書房より刊行が開始されたシリーズ「Minerva 世界史叢書」の最初の巻が出版されました。この叢書は、これまでのわが国における世界史を反省して、新たな世界史を構築することを目指すもので、これまでの世界史が、世界の国民国家史や地域史の寄せ集めであったり、自国史を除いた外国史であったり、欧米やなんらかの「中心」から見た世界史であったりしたことへの反省を踏まえたうえで、近年の歴史研究の成果を取り入れて、それらの限界を突き破ることを目指すものです。

「世界史叢書」は、全体として以下のような構成を取ります。

総　論　「世界史」の世界史
第一期　世界史を組み立てる
第二期　つながる世界史
第三期　人類と世界史
第四期　文化の世界史
第五期　権力と秩序の世界史

編集委員は、秋田茂、永原陽子、羽田正、南塚信吾、三宅明正、桃木至朗です。

その最初の巻は『総論「世界史」の世界史』と題されています。この巻は、第一部において、これまでわれわれ人類は、西欧のみならず、世界各地においてどのような「世界像」を描いてきたのかを点検し、第二部では、18 世紀末以来現在まで、われわれはどのような「世界史」をもっているのか、啓蒙主義、実証主義、マルクス、世界システムなどの「世界史」を取り上げて、その「世界史」の特徴や問題点はどこにあるのかを批判的に総点検し、第三

部で、その問題点を乗り越えるオルターナティヴな展望を示すことを目指しています。

ちなみに続く五期（各期三巻ずつで構成）の内容を概観しておきますと、第一期では、ナショナル・ヒストリーにとらわれない、またヨーロッパ中心でもない世界史を組み立てるにはどういう方法がありうるのかを提示してみました。第二期では、世界の諸地域をつなぐ「ひと」「もの」「情報」に注目して、それぞれがどのように世界史を構成する要素になっているのかを検討してみました。第三期では、視野を「類」としての人間（人類）に広げて、そのような観点から世界史を眺め直すため、「科学技術」「健康」「地球環境」というテーマを立てて、人類史的な世界史を検討してみました。第四期では、ともすれば非常にナショナルに扱われがちな文化という視点から世界史を考えるために、「芸術と感性」「知識と思索」「価値と理念」に注目してその世界史的な広がりを考えてみました。そして最後に、第五期では、これまた容易に国家権力の問題に収斂してしまいそうな「権力」と「抵抗」と「秩序」という側面から、世界史をどのように考えることができるのかを検討してみました。これは国家や国民といった今日の歴史の思考的枠組みを掘り崩すためにも不可欠な検討だと考えています。

MINERVA 世界史叢書

全16巻

A５判・上製カバー

編集委員　秋田　茂／永原陽子／羽田　正／南塚信吾／三宅明正／桃木至朗

総　論	「世界史」の世界史	秋田　茂／永原陽子／羽田　正 南塚信吾／三宅明正／桃木至朗　編著
	第Ⅰ期　世界史を組み立てる	
第１巻	地域史と世界史	羽田　正　責任編集
第２巻	グローバル化の世界史	秋田　茂　責任編集
第３巻	国際関係史から世界史へ	南塚信吾　責任編集
	第Ⅱ期　つながる世界史	
第４巻	人々がつなぐ世界史	永原陽子　責任編集
第５巻	ものがつなぐ世界史	桃木至朗　責任編集
第６巻	情報がつなぐ世界史	南塚信吾　責任編集
	第Ⅲ期　人と科学の世界史	
第７巻	人類史と科学技術	桃木至朗　責任編集
第８巻	人と健康の世界史	秋田　茂　責任編集
第９巻	地球環境の世界史	羽田　正　責任編集
	第Ⅳ期　文化の世界史	
第10巻	芸術と感性の世界史	永原陽子　責任編集
第11巻	知識と思想の世界史	桃木至朗　責任編集
第12巻	価値と理念の世界史	羽田　正　責任編集
	第Ⅴ期　闘争と共生の世界史	
第13巻	権力の世界史	桃木至朗　責任編集
第14巻	抵抗の世界史	南塚信吾　責任編集
第15巻	秩序の世界史	三宅明正　責任編集

ミネルヴァ書房

http://www.minervashobo.co.jp/

RIWH アフリカ奨学基金（第四期）授与の報告

皆さまの篤志に支えられ、「RIWH アフリカからの世界史賞 RIWH Award for World History from Africa」（第四期）の給付を、2016 年 4 月より開始することができました。ご寄附をお寄せいただいた皆さまには、厚くお礼申し上げます。前回同様、ナイジェリアのイロリン大学人文学部歴史および国際研究学科において、受給学生の募集と同学科の先生方による選考が行われました。論文審査の結果、受賞者として以下の 3 名の方が決定しました。

Taofeek Ayinde Ogundiwin さん (37 歳)

Adewale Adewumi Owoade さん (22 歳)

Folarin Oluwatosin Yewande さん (23 歳)

受賞者の方には、賞状と奨学金 1,500 ドル (USD) を送りました。授賞式の模様は下のとおりです。ご寄附をお寄せいただきました皆さまには、改めて深くお礼申し上げますとともに、今後ともご理解、ご協力をお願い申し上げます。

第五期の寄附は、2017 年 3 月末を期限として募集しております。送り先は以下の通りです。どうぞよろしくお願い申し上げます。

三菱東京 UFJ 銀行 渋谷支店

口座種別　普通預金

口座番号　0683412

口座名義　(特) 歴史文化交流フォーラム 理事 南塚信吾

お知らせ

世界史研究所ウェブサイトのリニューアルに関するお知らせ

世界史研究所では、研究所ウェブサイトを通じて電子化された世界史研究の情報の収集・発信を行っていますが、一昨年、千葉大学に設置されていたサーバーがサイバー攻撃を受け、データが損失し、サーバーの移転を余儀なくされました。皆さまにはご迷惑をおかけしました。深くお詫び申し上げます。昨年秋、ウェブサイトをリューアル致しました。新ウェブサイトのアドレスは、次のとおりです。

新 URL： **http://www.npo-if.jp/riwh/**

現在、可能な範囲でデータの復旧に取り組んでおります。引き続きご不便、ご迷惑をおかけいたしますが、何卒ご理解のほどよろしくお願い申し上げます。なお、世界史研究所「ニューズレター」のバックナンバー各号に関しましては、新ウェブサイトより PDF 版がダウンロード可能です。

今後とも、当研究所ウェブサイトにご愛顧を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

本ニューズレターへのご寄稿は随時承っております。
文献紹介、研究情報など、世界史に関するご投稿をお考えの方は、当研究所までご連絡ください。

『世界史研究所 Newsletter』編集担当一同

発行日：2016 年 09 月 30 日
発行者：NPO-IF 世界史研究所

NPO-IF 世界史研究所

〒 150-0002　東京都渋谷区渋谷 2-17-3　渋谷アイビスビル 10F
tel: 03-3400-1216　fax: 03-3400-1217
e-mail: world_history@npo-if.jp　URL: http://www.npo-if.jp/riwh/

スタッフ

所　長	南塚 信吾（千葉大学・法政大学名誉教授）
顧　問	下村 由一（千葉大学名誉教授）
	百瀬 宏（津田塾大学名誉教授）
研究員	木村 英明（早稲田大学講師）
	木村 真（日本女子大学講師）
	鈴木 健太（東京外国語大学特別研究員）
	山崎 信一（東京大学講師）
	姉川 雄大（千葉大学特任助教）
	崎山 直樹（千葉大学特任講師）
	鹿住 大助（島根大学講師）
特別研究員	稲野 強（群馬県立女子大学名誉教授）
	近藤 正憲（学術博士）